

岐阜県立多治見病院へのアクセス確保について（要望）

多治見市前畑町に位置する岐阜県立多治見病院は、岐阜県中濃地域南部、東濃地域の基幹病院として、地域住民の医療の確保を担っており、平成 23 年 10 月には、岐阜県から災害拠点病院に指定されています。

平成 23 年 9 月の台風 15 号接近に伴う大雨により、ＪＲアンダーパス及び大原橋が通行不能となり、当院のドクターカーが出動できないばかりか、救急車両も寄りつけないなど、災害拠点病院としての支援機能が十分に果たせない状態に至りました。

現在、当院が立地する前畑町 4 丁目・5 丁目地区（以下「この地区」という。）へのアクセス道路は県道武並土岐多治見線一路線しかないため、当院が災害拠点病院としての機能を果たすとともに、この地区の住民が安心して生活できるためには、災害の発生時において、この地区における外部とのアクセスの早期確保が喫緊の課題となっています。

しかしながら、浸水対策実行計画に基づき取り組まれている施策のみでは、この課題を解決するには至らない想定となっているため、新たな対策を講じていただきますようお願いするものです。

平成 25 年 5 月 16 日

多治見市雨水排水対策協議会 御中

地方独立行政法人
岐阜県立多治見病院
理事長 原田 明生

